

次に、大学の設置区分別に希望する就職先をみると、私立大学で「民間の企業・法人」を希望する回答が他の区分に比べてやや少なく、また、「自営業」を希望する回答は他の区分に比べてやや多いという結果であった。

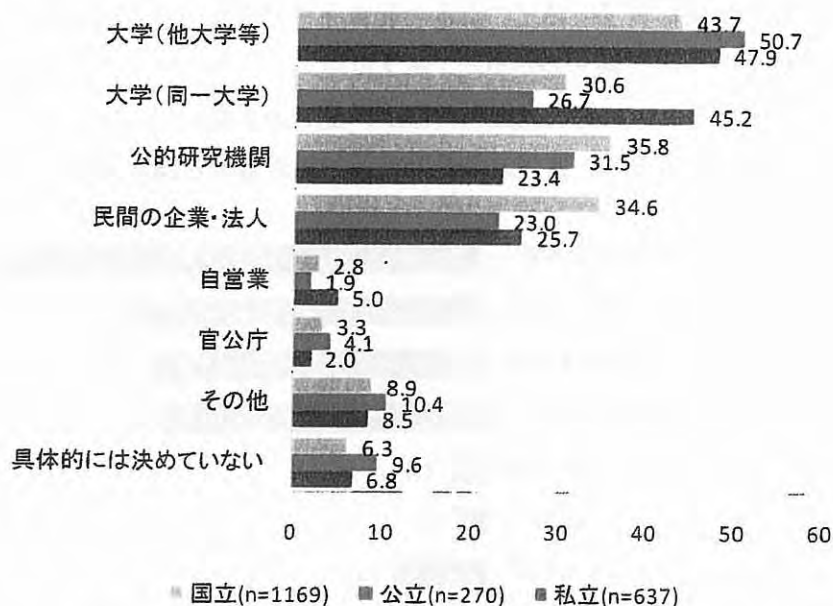


図 I - 23 大学の設置区分別の博士課程（後期）修了後に希望する就職先(%)

大学院の所在地別にみた希望する就職先では、どの地域もほぼ同様の傾向を示しており、他と状況が異なる地域はなかった。

表 I - 11 大学院の所在地別の博士課程（後期）修了後に希望する就職先(%)

	大学(他大学等)	大学(同一大学)	公的研究機関	民間の企業・法人	自営業	官公庁	具体的には決めていない	その他
北海道(n=98)	39.8	35.7	26.5	30.6	2.0	6.1	11.2	10.2
東北地方(n=155)	41.3	31.6	31.6	33.5	3.2	4.5	5.2	10.3
東京都(n=310)	45.2	38.7	31.3	30.6	1.9	3.9	6.5	8.4
東京都以外の関東地方(n=270)	45.6	32.6	35.2	32.2	4.8	2.2	6.3	7.0
中部地方(n=308)	44.2	30.5	31.5	31.2	4.5	1.6	8.8	8.4
近畿地方(n=509)	54.0	36.9	28.3	26.9	3.5	1.8	7.3	9.0
中国地方(n=141)	42.6	35.5	35.5	31.9	2.1	4.3	2.8	12.1
四国地方(n=43)	32.6	34.9	53.5	25.6	7.0	2.3	9.3	2.3
九州・沖縄地方(n=238)	42.9	32.8	29.8	31.9	2.5	4.2	6.3	10.1

大学院の専攻分野別では、理学系で「民間の企業・法人」が、保健系で「同一の大学」の回答割合がやや多くなっている。

9 博士課程（後期）修了後に希望する職種

博士課程（後期）修了後に希望する職種は、「専門分野に関する研究開発職」が65%と最も多く、群を抜いていた。また、「専門分野に関わらず研究開発職」も29%で続いており、希望する職種としては研究開発職が多くを占めている。「民間企業等の職員」は「ポストドクター」と同程度であるが、「官公庁等の行政職」や「初等中等教育の教育職」を希望する回答は少ない。

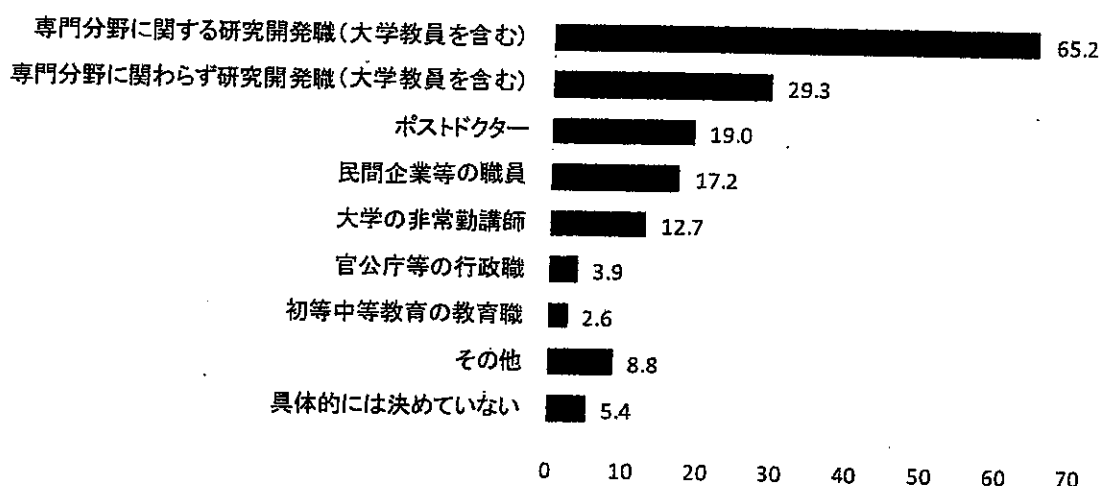


図 I - 24 博士課程（後期）修了後に希望する職種(n=2076,%)

「その他」の項目に具体的に記入された内容は、多種多様で多岐にわたっているが、比較的数量が多かったのは、

- ・学芸員やアーティストなどの専門職種
 - ・国連やNPO、NGOなどの国際的機関の職員
- などであった。

次に、大学の設置区分別に希望する職種をみると、国立大学では「ポストドクター」や「民間企業等の職員」を希望する割合が他の区分より多く、また、私立大学では「専門分野に関する研究開発職」を希望する割合が他の区分より多くなっていた。

大学院の所在地別の希望する職種については、北海道、東北地方、四国地方で「大学の非常勤講師」を希望する割合が低くなっているのに対して、近畿地方では逆に「大学の非常勤講師」を希望する割合が高くなっている。また、九州・沖縄地方では「専門分野に関する研究開発職」を希望する割合が他の地域と比べるとやや低くなっている。

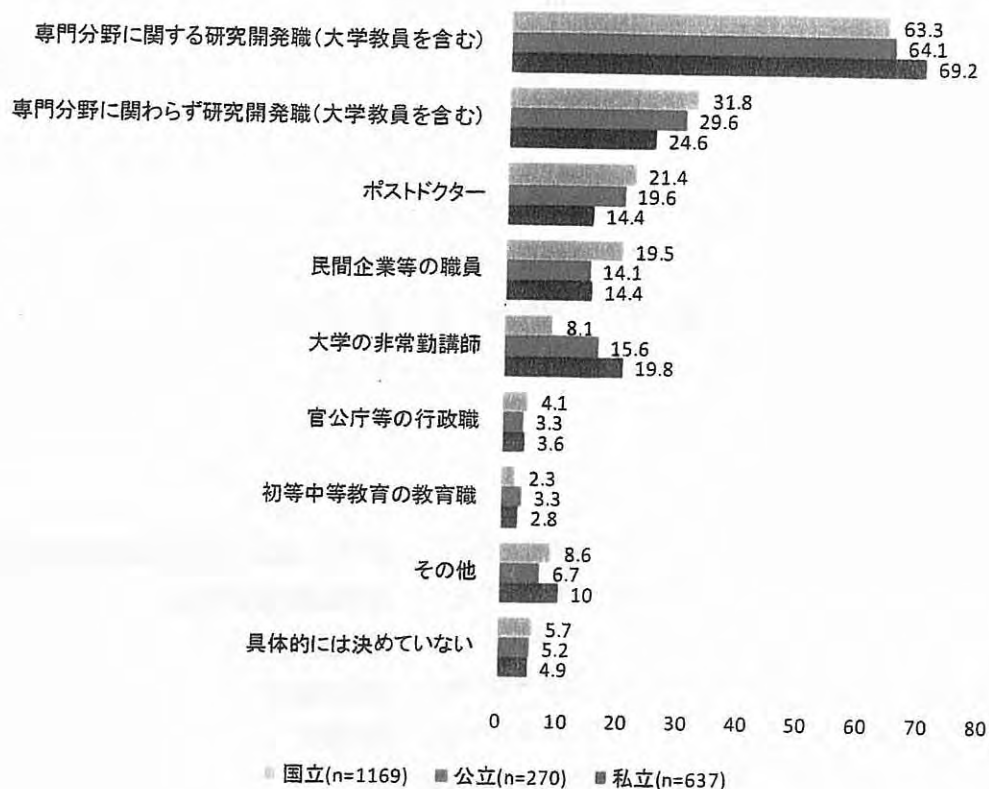


図 I - 25 大学の設置区分別博士課程（後期）修了後に希望する職種(%)

表 I - 12 大学院の所在地別博士課程（後期）修了後に希望する職種(%)

	専門分野に関する研究開発職(大学教員を含む)	専門分野に関わらず研究開発職(大学教員を含む)	ポストドクター	民間企業等の職員	大学の非常勤講師	官公庁等の行政職	初等中等教育の教育職	具体的には決めていない	その他
北海道(n=98)	61.2	32.7	22.4	15.3	4.1	5.1	5.1	7.1	8.2
東北地方(n=155)	64.5	25.2	22.6	17.4	6.5	3.9	3.2	5.8	10.3
東京都(n=310)	68.1	26.8	21.3	18.4	17.7	4.8	2.3	4.2	7.1
東京都以外の関東地方(n=270)	69.6	30.7	18.5	16.7	11.9	5.6	0.7	4.4	9.3
中部地方(n=308)	64.0	28.9	18.5	17.9	11	1.9	1.3	5.8	10.1
近畿地方(n=509)	68.0	30.8	17.3	14.7	15.9	2.6	3.7	4.9	8.4
中国地方(n=141)	60.3	31.2	14.9	19.9	12.1	5.0	2.8	3.5	9.9
四国地方(n=43)	65.1	30.2	30.2	23.3	2.3	2.3	4.7	9.3	4.7
九州・沖縄地方(n=238)	58.0	29.0	17.6	18.9	11.8	5.0	2.5	8.0	8.8

大学院の専攻分野別では、理学系で「専門分野に関わらず研究開発職(大学教員を含む)」という回答割合が他の専攻分野よりも高かった。

10 博士課程（後期）修了後の進路に対する不安

博士課程（後期）修了後の進路に対して不安を感じているかどうかについては、「非常に感じる」が33%、「やや感じる」が22%であり、なんらかの不安を感じる割合が半数を超えている。不安を感じない割合（「あまり感じない」＋「全く感じない」）は17%に留まっている。

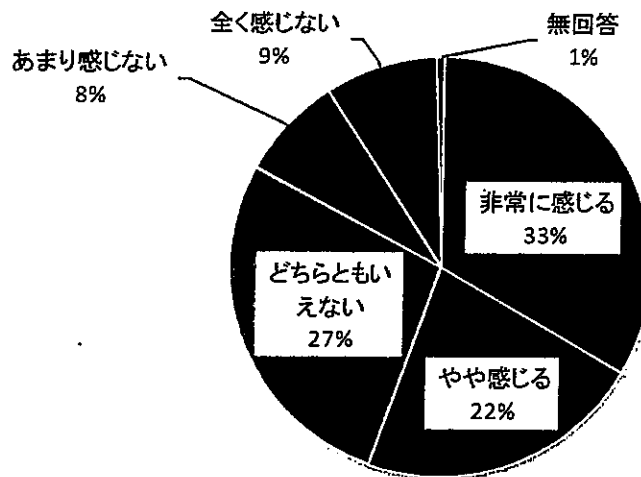


図 I - 26 博士課程（後期）修了後の進路に対する不安(n=2076)

博士課程（後期）修了後の進路に対して不安を感じる（「非常に感じる」＋「やや感じる」）と回答した人に理由を尋ねたところ、

- ・希望する大学の研究職はポストが少なく難しい。「高学歴ワーキングプア」が現実のもののように、不安はつきることはない
 - ・企業側は博士採用を念頭に置いておらず、研究機関の採用枠は少なく狭い
 - ・給料の低さや奨学金の返済などの金銭面での不安
 - ・学位をとってもそれを活かせるポストが少なく安定した就職がないため
- など、希望する進路が大学・企業にかかわらず職に就けるかどうかに関する不安が大きい。

大学の設置区別に博士課程（後期）修了後の進路に対する不安をみると、私立大学で「どちらともいえない」の割合が他の区分より高くなっていた。